

【大阪市】社会資本総合整備計画

平成30年 9月28日

計画の名称	1 大阪市下水道・河川重点整備計画			重点計画の該当
計画の期間	平成26年度 ~ 平成28年度 (3年間)	交付対象	大阪市	
計画の目標				

下水道整備を行い、安全・安心で快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造するとともに、循環型社会に貢献する。

計画の成果目標（定量的指標）

・流域別下水道整備総合計画対応のための窒素除去施設整備率を 0%(H26当初)から48% (H28末)に向上させる。

定量的指標の定義及び算定式

流域別下水道整備総合計画対応のための窒素除去施設整備率：施設整備により削減される窒素量 / 目標窒素削減量 (4.21t/日)

定量的指標の現況値及び目標値			備考
当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H27末)	最終目標値 (H28末)	
0%	-	48%	

  

全体事業費	合計 (A+B+C+D)	1,368百万円	A	1,368百万円	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C + D)	0%
-------	-----------------	----------	---	----------	---	------	---	------	---	------	-----------------------------------	----

事後評価（中間評価）

事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	
事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価の実施時期
大阪市において評価を実施	平成30年9月
	公表の方法
	大阪市ホームページにて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A1 下水道事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H26	H27	H28	H29	H30		
A1-1	下水道	一般	大阪市	直接	-	処理場	新設	市内(12処理区)下水処理場施設 (資源循環形成)	平野下水処理場汚泥処理施設整備1式	大阪市						1,367	
A1-2	下水道	一般	大阪市	直接	-	処理場	改築	市内(12処理区)下水処理場施設 (改築更新)	海老江下水処理場水処理施設整備 他1式	大阪市						1	
											合計					1,368	
B 関連社会資本整備事業(該当なし)																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H26	H27	H28	H29	H30		
																0	
											合計					0	
C 効果促進事業(該当なし)																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H26	H27	H28	H29	H30			
																0	
																0	
											合計					0	
番号	一体的に実施することにより期待される効果																備考

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業（該当なし）															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
									H26	H27	H28	H29	H30		
														0	
合計													0		
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考	

その他関連する事業：大阪市下水道・河川総合整備計画																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
											H23	H24	H25	H26	H27		
A' 1-11	下水道	一般	大阪市	直接	-	処理場	新設	市内（12処理区）下水処理場施設（資源循環形成）	汚泥処理施設整備	大阪市						672	
合計													672				

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況													
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・大阪湾流域別下水道整備総合計画暫定目標に適合するために必要な施設整備を実施したことにより、市内平均放流水質の向上が図ることができ、良好な水環境の創出が促進された。											
定量的指標の達成状況		目標 流域別下水道 整備総合計画 対応のための 窒素除去施設 整備率	最終目標値	48.0%	目標値と実績値 に差が出た要因	計画どおり、窒素除去施設の整備を実施したことにより目標を達成した。							
			最終実績値	48.0%									
定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）													

3. 特記事項（今後の方針等）													
<p>・新たな社会資本整備計画「大阪市下水道・河川重点整備計画〔第2期〕」において、継続して事業を実施している。</p> <p>次期計画においては窒素除去施設整備率をより48%から51%に向上させるよう引き続き事業を実施し、PPP/PFIの事業手法による民間活力を活用する下水道事業数を増加させる。</p> <p>これらの取組により、安全・安心で快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造するとともに、循環社会に貢献していく。</p>													

(参考図面1) 社会資本総合整備計画

